

検討の流れ

資料1

第2回検討委員会(12/18)

- ・モデル分析、選択肢の作り込み作業について【別紙1 - 1】
- ・「複数の選択肢」候補として、委員から約30の案【別紙1 - 2】

第3回検討委員会(1/23)

【別紙1 - 3】

以下のケースを**仮置き**し、排出量、社会・経済への影響等を**仮分析**

- ・「努力継続」ケース
- ・「最大導入」ケース
- ・1990年比 - 15%、- 25%、- 40%の場合

いくつかの指標により、先進国の排出量を国際比較

- ・限界削減費用による比較
- ・GDP当たり対策費用による比較
- ・人口当たり排出量による比較

「複数の選択肢」として本分析を進めるべきケースを審議
仮置きしたケース以外のケースも含めて選択肢を検討

関係者ヒアリングにより排出量の分析の精緻化【別紙1 - 4】

- ・産業部門、運輸部門、民生部門が対象。
- ・活動量(生産量等)の見込み、対策技術の普及見込み等をヒアリング

その他の要素の分析

- ・長期目標との関係
- ・対策を取らない場合のコスト
- ・エネルギーセキュリティとの関係
- ・エネルギー起源CO2以外のガス、吸収源、CDMの取扱い
- ・感度分析(各諸元、政策等) 等

各ケースの分析結果をパッケージ化して「複数の選択肢」として提示

- ・排出量
- ・エネルギー利用形態
- ・社会・経済への影響
- ・長期目標との関係 等